

※ご参考【ぼうさい探検隊】（日本損害保険協会ほか）

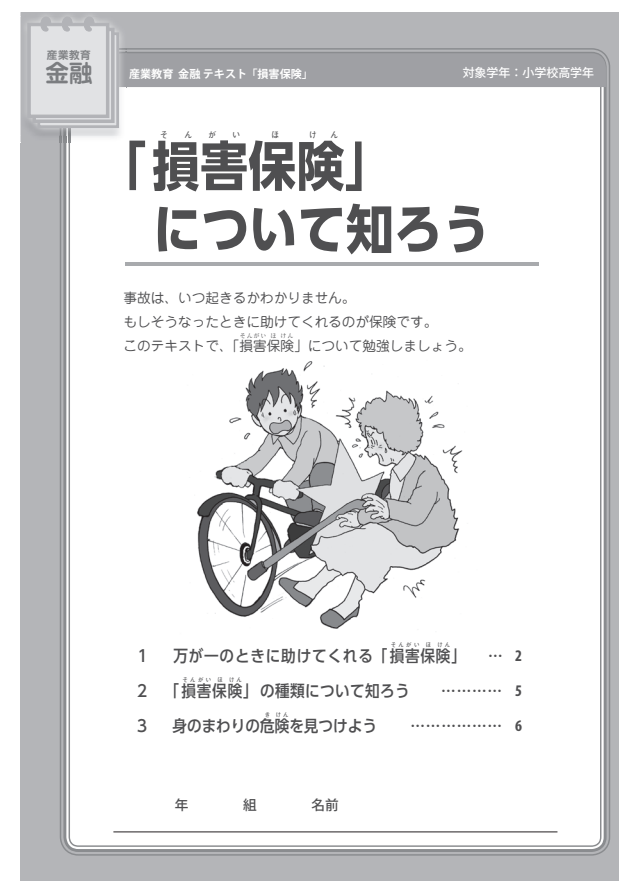
日本損害保険協会では、子どもたちが楽しみながら、まちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、マップにまとめる実践的な安全教育プログラムである「ぼうさい探検隊」を実施しています。この取り組みは、毎年コンクール形式で実施されており、参加したすべての子どもたちに参加賞が送られます。優秀な作品には文部科学大臣賞などが送られます。

「ぼうさい探検隊マップコンクール」事務局
TEL：03-6822-9355（平日 10:00～18:00）
FAX：03-6822-9373 E-Mail：info@edp-entry.jp
http://www.sonpo.or.jp/protection/bousai/index.html

《指導にあたって》

- 問題文や説明の文は、適宜子どもたちに音読させる。その際、難語句があるので、教師が範読した後で子どもたちに読ませることが望ましい。
- 子どもたちの作業には時間差が生じる。そのために、次のような手立てをとり、時間差をうめるようにする。
 - ・早く終えた子に発表させる。
 - ・早く終えた子に読ませる。
 - ・早く終えた子に板書させる。また、発表させたり、板書させたりすることで、わからない子の参考にさせる。
- 答えを書かせたら、手を挙げさせたり、発表させたりして、確認をする。

「損害保険」について知ろう



産業教育研究会
上地 貴之

1. 対象学年：小学校5・6年（1～2時間）
2. ねらい：身近な例を挙げて「損害保険」について知らせ、関心をもたせる。
3. 進め方：テキストの通りに進める。テキストの発問を読み、子どもたちに答えさせていく形である。テキストを1枚ずつコピーして配布していく形で進めてもよい。

主な発問・指示	指導上の留意点
<p>《テキストの表紙より》 事故は、いつ起きるかわかりません。もしそうなったときに助けてくれるのが保険です。このテキストで「損害保険」について勉強しましょう。</p> <p>1. 万が一のときに助けてくれる「損害保険」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><問1> 塾の帰り道、6年生のA君は自転車を運転していました。暗い中、急いで帰ろうとしてスピードを出していました。すると交差点でおばあさんとぶつかってしまいました。おばあさんは頭を強くぶつけて、意識が戻らなくなってしまいました。さて、A君はどうなってしまったのでしょうか？ ①おばあさんの家族に心から謝り、許してもらった。 ②裁判になり、A君が大人になるまで自転車に乗ってはいけなくなった。 ③裁判になり、A君の家族がお金を支払わなくてはならないことになった。</p> </div> <p>どれだと思いますか。四角の中に番号を書きましょう。 書いた番号に手を挙げます。①だと思う人。②だと思う人。③だと思う人。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><問2> A君の家族は、お金をいくら支払わなければならなくなったのでしょうか。 ①数10万円程度（パソコン1台くらい） ②数100万円程度（車1台くらい） ③数1000万円程度（家1軒くらい）</p> </div> <p>どれだと思いますか。四角の中に番号を書きましょう。 書いた番号に手を挙げます。①だと思う人。②だと思う人。③だと思う人。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><問3> 万が一のときに助けてくれるのが「損害保険」です。うすい文字をなぞりましょう。</p> </div> <p>うすい文字をなぞりましょう。 なぞった人は小さな声で<問3>を読んでいきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト表紙を読み、今日勉強することを知らせる。 ・損害保険という言葉聞いたことのある児童がいるかを尋ねてもよい。 ・教師が問題文を読む。 ・予想させて書かせた後、①～③のどれを選んだか確認する。 ・答え（③）を確認した後、下の解説文を読ませる。 ・教師が問題文を読む。 ・予想させて書かせた後、①～③のどれを選んだか確認する。 ・答え（③）を確認した後、下の解説文を読ませる。 ・〈損害賠償の金額が高い自転車事故例〉を読ませた後、感想を発表させる。 ・教師が問題文を読む。 ・全体がなぞり終わったら、「集めたお金のことを何と言うのですか。」（保険料）というように、キーワードを答えさせる。 ・4ページ下のコラムを読ませた後、感想を発表させる。

主な発問・指示	指導上の留意点
<p>2. 「損害保険」の種類について知ろう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><問4> 損害保険には、他にもさまざまな種類があります。線でつなぎましょう。</p> </div> <p>「万が一」が起きた時の絵が①～④です。右側の「傷害保険」「火災保険」「自動車保険」「地震保険」が、保険の種類です。 「万が一」のとき、それぞれどの保険が関係ありますか。 線でつなぎましょう。</p> <p>3. 身のまわりの危険を見つけよう</p> <p>万が一の事故にあわないようにするため、「どんな危険があるのか」について調べてみましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><問5> 下のイラストから「危険だな」と思うところを見つけて書きましょう。</p> </div> <p>①～③の絵を見て、「危険だな」と思うところを書きましょう。 黒板に書いたものを発表しましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><問6> 「自転車安全利用五則」という、自転車の安全な乗り方やルールがあります。うすい文字をなぞりましょう。</p> </div> <p>①～⑤まで、うすい文字をなぞりましょう。</p> <p>授業の感想をまとめましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が問題文を読む。 ・定規で線を引かせる。 ・「①はどの保険ですか」のように聞き、答えさせていく。 ・下の解説文を全員で読む。 ・教師が問題文を読む。 ・黒板を縦に6等分するよう、チョークで線を引いておく。 ・③まで書いた子から持ってこさせ、黒板に書かせる。 ・よく分からない子には、黒板に書かれたものを参考にさせるとよい。 ・6ページ下のコラムを読ませ、感想を発表させる。 ・教師が問題文を読む。 ・早くなぞり終わった子から小さい声で読ませておく。 ・②では、自転車専用の「自転車道」の場合でも、左側通行であることを説明する。 ・なぞったキーワードをくり返し読ませる工夫をする。 （例） ・教師はなぞり文字以外の文章を読み、子どもはなぞった文字だけ読ませる。 ・車道ではどちら側を通行するのですか。（左側）